

越年ミサ(感謝のミサ)の説教

金 大烈 神父 2010年12月31日(金)

《一年間を振り返って - 感謝・赦し・人のために祈る - 》

祭壇以外の灯りを全て消してください。

さあ皆様、先ず祭壇の真ん中にある十字架、そしてその下の聖櫃の中にいらっしゃるイエス様を意識しましょう。そして、落ちついた気持ちで静かに眼を閉じましょう。

一年間経ちました。40分くらい経てば、2010年も終わります。年を送る今の瞬間に、最後の仕上げが必要ではないかと思えます。二つのことを思い出しましょう。

先ず、去った一年間に皆様それぞれを苦しめた一番つらかったことを思い出してください。

(沈黙のうちに)

すぐに、何か思い浮かんだ人もいるのでしょうか。また、いろいろなことの中でどれが一番つらかったのか迷っている人もいるでしょう。

では次に、一年のうちで一番よかったこと、嬉しかったこと、意味があったと思われることを思い出してください。

(沈黙のうちに)

今私たちは、最初につらかったこと、悲しかったことを思い出しました。その後、嬉しかったこと、喜んだこと、本当にこれは意味があったと思われることを思い出しました。では、この二つの感情、二つの体験のうちで何が一番大変なことでしたか。つらかった経験、つらかった出来事、つらかった関わりでしょうか。それとも、嬉しかった経験、嬉しかった出来事、嬉しかった関わりでしょうか。どちらにしても私たちはその大変だったことに感謝すべきです。なぜかと言うと、それらの経験に感謝することによって私たちは信仰的に更に成長できるからです。痛みが痛みとして残ってしまうだけならば、それには何の意味もありません。喜びも、ただ喜んで過ぎてしまうだけならば、そこにも何の意味も残りません。

一年間に起こった全ての出来事、関わり、いろいろなことを、神様にもう一步近づくための恵みの出来事として、胸に刻みましょう。

そして沈黙のうちに、心の中で、「一年間守ってくださって感謝します」とイエス様に叫びましょう。どんな事があったとしても、今、神様の聖殿の中で、一年の最後のミサに与り、神様のみ旨に耳を傾けている自分自身の状況に感謝しましょう。

さあ、次に行きましょう。

憎くてたまらなかった人を思い浮かべてください。思い出すだけでなかなか寝られないくらい、消化が悪くなるくらい、本当に嫌な気持ちを持っていた人を思い浮かべてください。

(沈黙のうちに)

皆様の中には、憎んでいる人は一人では足りません、と思う人もいるでしょう。また、一人も思い浮かびません、と思う人もいるでしょう。とにかく、憎んだ相手のいる人は、今年が終わるまでに、先ず神様のために、そして自分のために、その憎い人と和解しなければなりません。この憎しみを持ったまま来年まで行く、という愚かなことはやめましょう。その人に直接、「赦してください」とは言いにくいかもしれませんが。しかし素直な心で、イエス様の御心の前で、「イエス様、私はこの憎しみを捨てようとしています。どうか助けてください。」と祈りましょう。「どんな奉仕も、どんな素晴らしい信仰の技も、あなたが教えてくださった赦す心がなければ、何の意味もないことを悟らせてください。」と祈りましょう。「自分の力ではどうにもできないこの感情の世界が、あなたによって癒されまますように。」と願いましょう。

皆様が憎んでいるその人も、同じように皆様に手を伸ばそうとしているかもしれません。その人が家族であるか、友達であるか、信者共同体の誰かであるか、は関係ありません。ただ、平安な心を保つことを妨げる痛みがあれば、この恵みのミサをとおしてその痛みをなくしましょう。もし皆様が100パーセント正しかったとしても、相手が100パーセント悪かったとしても、神様のために、そして自分のために赦しましょう。

さあ次に、一年間の中で、この人と出会えて本当によかった、と思う人の顔を思い浮かべてください。

(沈黙のうちに)

その人のためにいつも感謝の心で祈りましょう。その人が何を好んで、何が苦手で、何が痛みになり、何が喜びになるかについて、どのくらい心を配ったのか、振り返ってみましょう。

私、金大烈・サベリオ神父も、一年間、もし皆様の心を痛めたところがあれば、この席を借りて赦しを求めます。そして、一年間、いろいろな面で助けてくださった皆様の心にも感謝申し上げます。

さあ、眼を開けてください。そして電気をつけてください。

今日の皆様のこのような心に対して、共同赦しの秘跡を授けます。皆様はいろいろなことを思い出したと思います。それについて、皆様それぞれの胸に話しかけてください。

さあ、償いを差上げます。

『一年間、毎朝、毎食前、毎食後、そして毎晩休む前に、祈りを忘れずに捧げましょう。』

難しいことですが、やってみますよね。

朝起きて、各食事前、食事後、そして寝る前、必ず祈ることを皆様に償いとして差上げます。

全能の神、あなたの愛される息子娘達の罪を赦してください。いつもあなたが伴っていることを悟らせてください。私も父と子と聖霊の御名によってあなたがたの罪を赦します。

ありがとうございました。